

(2024 年度 第 09 回) さくら山王自治会 班長会議事録

開催日時：2024 年 12 月 21 日 15:30～16:30

場所：山王集会所

参加：47 名 欠席：6 名

【総務部挨拶】

ただいまから班長会議を開催いたします。本日班長定数 53 名のところ、47 名参加 6 名欠席です。3 分の 2 を上回っておりますので、今回の決議は有効となります。この後は会長の方で、議事進行させていただきますので、会長よろしくお願いいたします。

1. 会長案件

1.1 連絡事項

■総会資料作成について

- ・総会に向けて各部の活動報告資料のテンプレートを各部長に配布した。
- ・各部で議論しテンプレートへの記載をお願いしたい。1 月の役員会で内容について議論をする。

■自治会テントの廃棄と新規購入の検討

- ・倉庫に保管されている古いテント 3 張りを廃棄予定。
- ・夏祭りで使用したアコーディオン式テントなどの新規購入を役員会で検討中。

■玄関ランプのセンサーライトへの変更

- ・現在の玄関ランプのスイッチが不明で、多くの利用者が認識していない。
- ・夜間の防犯性向上のため、センサーライトに変更予定。

■防犯カメラの現状と対応

- ・壊れた防犯カメラ 2 台を新型に交換。
- ・新型カメラは警察が SD カードを抜き取り分析する仕様に対応。
- ・過去に設置した 4 台で SD カードがフォーマットされておらず、録画がされていなかった問題を発見。記録が取れるよう修正済み。
- ・今後防犯カメラは 5～6 年単位で故障すると推測している。防犯カメラの交換コストを次年度の防犯部の計画に盛り込む予定。

1.2 班統合(11 班と 13 班)について

■11 班の現状

- ・11 班の班長が選出できない状況である。先月も会長に相談があり、収拾がつかない状況。
- ・11 班は 15 名の自治会会員のうち 3 名が高齢者のため班長対象外、3 名と連絡が取れず、残りの対象者の中で班長辞退者が続出し、自治会を辞める意向もある。
- ・過去に輪番制が採用されておらず班内で班長を探す方式であった。次期班長から輪番制を採用すると班内に通知したところ、次に班長にあたる方が過去に何回かやっており、班長が決まらない。
- ・班長ができる可能性のある方が 5～6 年の選出頻度であると負担がかなり大きい。

■11 班と 13 班の統合

- ・このような状況は 11 班だけの話ではなく、今後、同様の事態が他の班でも発生する可能性がある。解決策としての班統合は最終手段である。自治会の輪番制は原則守るが、個々の事情を考慮

する必要がある。

- ・ 本件について会長、総務副部長間にて相談を実施。11 班と 13 班を統合させて合計で 24 世帯の班を構成する案を提案。統合により、班長の選出頻度が減り負担軽減が期待される。班長会での承認をいただけたら、次年度の組織づくりは 11 班と 13 班を統合した形で進めることしたい。

《11 班と 13 班統合についての採決》

- ・ 11 班と 13 班を統合する。賛成の方、挙手をお願いしたい。
⇒ 挙手多数。11 班と 13 班を統合し、次年度の組織づくりをする

■行事部定員削減について

- ・ 11 班と 13 班の統合、19 班と 20 班の統合により、来年度の班長数が 2 名減少となる。各部の状況を鑑みて、来年度の行事部定員を 11 名から 9 名に変更としたい。
- ・ 変更後の定員案を規約に盛り込み、次回議案書に承認を求める予定。
- ・ 夏祭りなどの行事では班長全員が協力しているが、定員削減の影響が懸念される。

■行事部見解

- ・ 一人削減ならやりくりして考えられるが、二人削減となると次の行事部にしわ寄せが入る。
- ・ 夏祭り当日は、各班長の協力が見込まれるが、夏祭り前日の準備、後片付けの協力は少なく、二人削減は厳しい。

《行事部定員数変更についての採決》

- ・ 行事部の定員数を来年度 9 名体制としたい。合意をしていただける方、挙手をお願いしたい。
⇒ 挙手多数。行事部の定員数を 9 名とし、議案書に盛り込む。

《会長コメント》

- ・ 行事部長の不安としては 2 人削減となると、次の部長さんに申し訳ないという気持ちがあるかと思う。
- ・ 人手不足の解消には、班長だけで業務を担わない仕組みづくりが必要であり、自治会の役割を地域全体で支え合う体制を目指す必要がある。
- ・ 11 班と 13 班の統合に関しては、13 班がメインになる。全戸一斉清掃の観点から環境部は次年度への引継ぎをお願いしたい。
- ・ 新 13 班の回覧物を 2 系統にするか、どのように回すのかについては新 13 班で決めること。

■質疑応答および議論

（意見）規約上は、合併ができる条件が 10 戸以下と定められている。これは無視するのか。

（会長）無視する。

（意見）規約だが。

（会長）現状、班長選定ができないのであれば、ハードの基準よりソフトを優先する。

（意見）それなら規約を改定した方がいいのでは。

（会長）総会で規約を改定することも考えている。変な規約に縛られて班長が選定できない状況は避けたい。

（意見）規約なので、軽々しく無視するとかは言わない方が良いのでは。

（会長）無視ではなく、先ほど決議をとった。規約の中に人数割りが入っているので変える必要がある。総会で規約改定も含め進める予定。

前回執行部を担当した時よりも、班長選任の困難さの話はよく耳にするようになった。負担、面倒、大変、という３つの言葉が出てきており、その根本原因は何かということに自治会として真剣に取り組む必要がある。基本的に我々はボランティアでやっているので、「あなたがやってください」と言われる世界ではないと思う。

（意見）輪番制なので実質そうではないか。

（会長）何かを変えない限りは、班長の担い手が減り、班統合の事態が増えてくる。

（意見）以前会長がおっしゃっていた専任の委員会を作り、各種交渉や資料作成を担ってもらい、我々班長の指示役になってもらう。班長は指示役のもと作業をする。このようにしていただけると負担はかなり減る。

（会長）現在の自治会活動において、班長がすべての業務を担う仕組みには限界がある。国会（意思決定）と内閣（実行部隊）のように、役割分担を明確にする必要がある。各業務に興味のある住民を専任の委員会のメンバーに加え、仕事を分担させる。みんなが関わる自治会にならないと、本当に何かやりたくない仕事をおしつけられているみたいな感覚が永遠に変わらないと思う。

（意見）副班長は前年度の班長だった方がなるかと思います。規定には書かれているのですか。

（会長）規約には記載されていない。

（意見）副班長制度を規定化するのはどうか。ここに役職も追加し、例えば、現在防犯部に所属しているのならば、次年度、防犯部の人手が足りない場合に声をかけてもらうような仕組みはどうか。

（会長）よいアイデアです。班はエリア分けの話だが、自治会活動という話で考えると、前職者が副でサポートに入るのは良いかと思う。サポートはできる人がやる。

（意見）私も手が空いていて、余裕があれば手伝ってもいいと思う。全員がやるというわけではない。

（会長）今後、部員の数が減ってきたとしても、前年度の人たちがサポーターとして入るという流れを我々が作れば、多少の助けにはなるかと思う。

1.3 山王地区土地計画の変更に関して

■土地計画の規制に関する背景と議論

- ・土地計画の規制緩和を目指す委員会を立ち上げて、参加希望者を募りながら具体的な方向性を議論している。
- ・土地計画の規制が専用住宅の新築や改築を妨げている。この制限を緩和し、他の住宅地と同じようにすることで、地域の発展を目指す方向を検討している。
- ・現状は、現在の規制により、店舗利用に縛られているエリアが存在し、これが地域の寂れた印象を与えているとの指摘がある。
- ・規制緩和により地域の発展を目指す意見がある一方、より住環境の良い空き地があるのだから、規制緩和しても変わらないのではとの疑問を呈する声もある。

■土地計画変更の手続き

- ・市条例の変更には行政手順を踏む必要があり、市役所の担当者とも事前相談を行う。
- ・規制緩和を進めるには、住民の合意形成が不可欠。そのため、意見収集や説明会の開催が必要
- ・規制の例外を設ける案が提案されるが、例外規定を作る場合も条例変更が必要。市役所との協議が不可欠であり、自治会として独自に決定することはできない。例外規定と主張し、建築しようとしても建築許可が下りない可能性が高い。

2. 各部報告

2.1 環境部

《報告》

- ・12月1日に公園清掃を実施。結果報告は資料を参照のこと。

2.2 福祉部

《報告》

■第3回0円バザー実施報告

-開催日： 11月24日 10時開始

-場所： 山王小学校体育館

-出店者：22店（前回より増加）

-来場者：364名（前回より減少）

- ・好評であった内容は、ゲームコーナーと駄菓子屋。
- ・課題は来場者数。次の開催では来場者を増やしたい。
- ・このイベントを振り返り、イベント形式（フリーマーケット方式）の改善や、他の方法があるのかを検討している。

■歳末助け合い募金運動

- ・回覧板に募金袋を添付し、回覧とともに募金をお願いしたい。
- ・募金袋がない場合は福祉部が予備を持っているため問い合わせをすること。もし予備の募金袋がない場合、他の袋（例：ジップロック）で対応可能。

2.3 防災部

《報告》

■防災訓練日時および参加人数

・実施日： 11月9日

・参加人数： 防災部全員、自治会役員 20名、班長 8名、防災委員 1名、一般会員 14名、
合計 43名

■会計報告

・予算： 50,000円

・実施費用： 37,490円

非常食（アルファ米）： 36,720円

靴入れ用ポリ袋： 770円

ビスケット： 市の備蓄品を使用（費用なし）

・予算残高： 12,510円

■訓練内容

①消防署職員の講話を聴講

災害時の備えとして「自助・共助・公助」の重要性が強調された。災害発生時の役割理解と連携の必要性について説明を受けた。身近なところでは、地震対策として家具などに転倒防止の金具を取り付ける、突っ張り棒を設置する、食器棚には飛び出し防止のフックを設置する、このような対策をすることにより震度 7 くらいまでの地震にはかなり効果があるとのこと。やられていない方はぜひ対策していただきたい。

②消火訓練

水消火器を 3 台使用し、火元での消火手順を学ぶ。消火器の使用方法（フックを抜く、箒で掃くように消火）。

③救命蘇生訓練

AED を使用し、救急車到着までの救命処置を体験。3 班に分かれて実施、多くの参加者が体験。参加者からは「体験を通じて知識が深まり有益だった」との声。

■防災訓練の振り返りと次年度計画

- ・体験型訓練が非常に有益であり、来年度も継続して実施したい。
- ・地震体験車の導入を検討し、更なる参加者増を目指したい。
- ・災害時に自治会が立ち上げる自主防災組織の訓練を実施したい。

《会長コメント》

- ・前は安否確認の訓練を実施した。災害が起きたときに自治会の執行部が中心となって、自主防災組織を立ち上げて、色々な班に分かれて活動するシステムは作ってある。
- ・安否確認は要支援者の方を優先して確認し班内の安否確認を行う。情報を自主防災組織の事務局に挙げてもらって、そこから市役所に情報を伝達する流れとなっている。
- ・防災部長がおっしゃったように、このシステムが機能するかの訓練は必要である。

《防災委員会 事務局作成 防災ガイドの概要説明》

- ・佐倉市からは防災マニュアルやハザードマップが出されているが、山王周辺の危険地帯や地域独自の事情などを説明したものではない。作成中の防災ガイドはそれらを盛り込んだ内容となっている。
- ・指定避難所の山王小学校と根郷中学校の受入人数は 1,291 名に対し、山王の人口は 3,127 名とすべての方が受け入れられるわけではない。災害が起きたときは自分たちで身を守ることが大事である。以上を鑑みて、各家庭で準備していただくこと、自分の身を自分で守ることを、この防災ガイドに記載をしている。
- ・防災ガイドは A 4 サイズ 28 ページの冊子となり、安否確認用に番地を入れた地図をのせる予定。これからブラッシュアップをしていく段階である。
- ・山王の世帯数は 1,209 世帯、外国人世帯 30 世帯であるため、今後のことを考え 1,500 部を予定している。配布は会員、非会員含めた全戸配布としたい。費用は 75,000 円～80,000 円程度を見込んでいる
- ・今年度中に発行したく、費用を自治会に拠出していただきたく、承認をお願いしたい。

《防災ガイド作製についての採決》

防災の準備とか一般的な話になるが、我々が住んでいる地域についてハザードマップを入れていただいている。地域の住民の方に、啓蒙も含めて配布していきたい。納期が4月以降でも構わないが、今期中で決算したい。防災ガイドに関して70,000円～80,000円の費用を出費することに合意される方は、挙手をお願いしたい。

⇒挙手多数。今期の決算として防災ガイド作製をおこなうこととした。

■質疑応答および議論

(質問) 防災ガイドの中にある地図に番地を入れてあります。A4サイズでも見えるのか。

(事務局) 見開きで、例えば1丁目の北半分などになるように編集をしている。また、班の区割りを入れる予定。

(質問) 災害が起きたときにどこで起きたのかを確認したい。号まで判別したい。

(会長) 見開きではなく、中綴じにして広げて見るレイアウトだと費用面で難しい。原則、見開きでページが増えたとしても地番がわかるようなレイアウトを考えていただきたい。入稿版ができれば、班長会で内容を報告していただきたい。

以上。

【次回開催予定】

役員会開催予定 1月18日 13:00～15:00

班長会開催予定 1月18日 15:30～16:30

※回覧資料を入れる封筒とクリップは使いましをするので次回もってくること。